



名古屋市唯一の福祉系の高校!

# 名古屋市立西陵高等学校

西陵高等学校は名古屋市内で唯一、介護福祉に特化した「ふくし系列」の学科をもつ学校で、介護士、看護師など福祉の現場で働くことを目指す生徒達が勉学に励んでいます。



中電ウイング株式会社が手掛ける「ウイングいちご」を使ったいちごのアイスクリームを開発するプロジェクトが、西陵生とのコラボで始動しました。いちごの廃棄削減を目指し、食品ロスを減らすことや、SDGs（持続可能な開発目標）への貢献を目指すこの取り組みは単なる商品開発に留まらず、障がい者雇用にもつながる大切なプロジェクトです。アイスクリーム製造には、地域に根ざした有限会社「ぶらんぼん」が協力し、商品のカップデザインは、障がいのある方々が手掛けています。アイスクリーム業界をリサーチした生徒たちは、実際に商品を食べ比べたりしながら



さまざまなアイデアを練り上げてきました。アイデアを出し合いコンセプトを深掘りする過程で、プロジェクトに対する理解がより深まりました。最終的には、企業の方々も驚くほど完成度の高いプレゼンが実現し、企業側からも「学生ならではの発想が素晴らしい」と大きな評価をいただきました。生徒たちがアイデアを形にした商品は文化祭で実際に販売。なんと30分で300個を完売する大成功を収めました。生徒たちは「商品のストーリーやテーマの大切さ」に気付き、今後の取り組みへのモチベーションをさらに高めています。これからも、このプロジェクトがどの地域や社会に貢献していくのか、目が離せません。地域の挑戦に期待が高まります。

## ウイングいちご商品開発プロジェクト



# 福しんぶん

福祉のお仕事新聞

名古屋版

2024年11月

発行：特定非営利活動法人 未来人財開発プロジェクト  
TEL:052-325-2220

制作：株式会社 大井企画

## 未来人財開発

特定非営利活動法人(NPO法人) 未来人財開発プロジェクトとは？  
青少年・就職・転職及び復職希望者に対して、人材育成に関する事業を行い、雇用に係る問題の改善を図り、エンプロイアビリティ（雇用される能力）の向上と社会資産の増進に寄与することを目的とする法人です。



## 今回の取材にお伺いした法人様のご紹介



社会福祉法人

せいざんりかい  
社会福祉法人 青山里会

<https://seizanrikai.jp/>



三重県四日市市を中心に老人福祉施設を運営している法人です。「人々が住みなれた場所、暮らし続けたい場所で、豊かに、安心して暮らせる街づくり」を目指し、介護保険制度内のサービスに限らない独自のサービス開発など多岐にわたる活動を行っています。



地域密着型介護老人福祉施設

## びわじま介護センター

名古屋市西区枇杷島 2-19-18

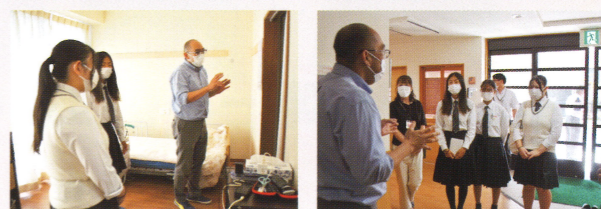
(名鉄「東枇杷島」駅より徒歩5分)

- ・地域密着型介護老人福祉施設 (29名)  
(特別養護老人ホーム)
- ・ショートステイ (9名)
- ・小規模多機能型居宅介護 (25名)
- ・サービス付き高齢者向け住宅 (9名)

今回取材させていただいた施設。

2014年7月に開設され、小規模ならではの利点を活かした地域密着型の施設として、多様なサービスを提供しています。誰もが住み慣れた地域の中で安心して暮らせるよう地域の方とも連携しながら運営されています。





今回は西陵高校ふくし科の生徒達が訪れたのは名古屋市区の「びわじま介護センター」。

びわじま介護センターは、地域密着型介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）・短期入所生活介護（ショートステイ）・サービス付き高齢者向け住宅・小規模多機能型居宅介護の4つのサービス事業を展開しており、利用者様の状況に合わせて幅広く利用できる施設となっております。

施設見学にあたり行った事前ガイダンスでは、法人の概要と実習施設、サービスについての説明を中心に、介護分野の現状、働き方、実習にあたっての心構えや考え方などのアドバイスをしていただきました。

その後は日を改めて実際に施設を訪問、見学をさせていただきました。今回は諸事情により残念ながら全てのフロアを見学することはできませんでしたが、生徒達は初めて訪れる「実際の現場」に興味津々の様子でした。入居者様達にも温かく出迎えられる、はじめは緊張していた生徒達も次第に穏やかな表情を見せていました。

「利用者さんを知る」ために  
さまざまな工夫がされていました

2年 荒井 来海

今日の取材でびわじま介護センターさんは利用者の方だけでなく、職員の方まで負担が少なく快適に過ごせるようロボットやAIなどを上手に取り入れていくことがわかりました。私も実習に行った際に、利用者さんの状態を常に頭に入れておくことの大切さを痛感したので、センサーなどで眠りの質やある程度のバイタルの確認ができるのは利用者さんについてより正確に知るために必要なのだと感じました。

また、3つの介護サービスや高齢者向け住宅など利用者さんに合わせて色々なサービスを利用することができ、魅力的な施設だと感じました。その方に合った介護サービスを提供するためには、選択肢が多いため施設の方が利用者さんの理想に近いと思うのでこういった施設がもっと増やしていけるといいと思います。この取材で施設についてまたひとつ知識を増やすことができて良かったです。



※利用者様のプライバシー保護の為、画像の一部にぼかしを入れております。

質疑応答コーナー

見学のあとは質問タイム！  
思い思いの疑問をぶつけます。

びわじま介護センターの  
魅力はなんですか？

大きな施設ではないので、入居できる人数は決して多くはないのですが、その分どこにいても入居者様の話し声が聞こえるので、職員も目を配らせやすく、アットホームで和やかな雰囲気を感じることができます。また、地元のお祭りに参加させていただいたりといった地域の方とのつながりがあることも大きな魅力の一つです。



小規模多機能のメリットは？

さまざまなサービスを組み合わせることで単独では行えない柔軟な対応ができることです。例えば「デイサービスの帰りに買い物に行きたい」といった時、通常のデイサービスでは職員は同行できないのですが、小規模多機能であれば通所サービスと訪問サービスを合わせて利用することで同行することができます。



おばあちゃんが認知症なのですが  
どう対応すればいいですか？



根気よく話を聞いてあげて下さい。  
認知症の方は名前を覚えるのが難しくても、その人の「顔」や「印象」は意外と覚えてくれていきます。なので「この人はよく話を聞いてくれる人だ」「この人は味方になってくれる人だ」と思われるように優しく接してあげることが大切です。

人のあたたかさで進化するICTが  
質の高い介護をつくる

2年 中島 可琳

安心感のあるあたたかい雰囲気がとても印象的でした。大きな施設ではないからこそ作り出せるアットホームな雰囲気は利用者さんだけでなく、さまざまな人に安心感を与えているのだと感じました。

また、介護ロボットやタブレットを活用した介護の仕方を学ばせていただきました。利用者さんの健康状態や睡眠状況などをデータとして毎日記録することで変化にすぐ気づき、素早く適切な対応ができると思えました。上手にICTを活用すれば、介護者も利用者さんも負担が減り、より安心安全な介護が提供できると思えました。

今回の見学を通して、施設のあたたかさや介護ロボットの技術を知ることができました。この2つのバランスがとればより質の高い介護の実現に繋がると感じました。

どこへ行っても笑顔があふれる  
素敵な空間でした

2年 石原 優凪

今回、見学に行かせていただいた一番心に残っていることは利用者の方の笑顔です。

特別養護老人ホームや小規模多機能型居宅介護など、どのフロアに行っても利用者の方の笑顔が輝いていました。それは職員の方からたくさん笑顔が溢れていたからだと思えました。職員の方も仰っていました。介護者が無愛想であつたりすると利用者の方はその介護者にはお願ひしたくなくなり、たとえその介護者が近くにいっても他の介護者にお願ひしたくありません。認知症の方でも嬉しかった事はよく覚えていたため、印象よく対応することが大切だと思えました。

また、他の施設に比べると大きな施設ではないですが、だからこそ利用者の方と職員の方との距離が近く、アットホームな空間であり、利用者の方にも安心感を与えることができる施設だと感じました。生活をすることで安心感というものは笑顔に繋がっていて、その笑顔が初めて見学させていただいた私たちにも自然と笑顔を与えてくれたのだと思いました。

進化する KAIGO

見守り支援システム「aams」

昨今、さまざまな施設で介護ロボットが導入されたことにより、職員の負担は大きく下がっています。今回はびわじま介護センターでも導入されている見守り支援システム「aams」を紹介していただきました。

iPadによる介護業務の効率化

入居者様の睡眠状態やバイタルがiPadにデータとして送信・可視化されるので「この方はいつ起きるか」「今ベッドにいるか」等がしっかり管理されています。入居者様が目を覚ました際には一時的に室内カメラの映像も見られるので「ただ少し目が覚めたので介助は不要」「トイレへ行こうとしているので介助が必要」といった状況判断を居室を訪れて確認することなく、職員の業務の効率化にも大きく貢献しています。



入居者様にもしっかり配慮

入居者様の状況はベッドの下に収納されたセンサーで間接的に感知。ベッドをめくらない限り視界に入ることもなく、体に直接触れることもないため、睡眠の妨げになることもありません。カメラも常に監視しているわけではなく、起床直後や何か異変があった時以外は基本的にオフになっているので、プライバシー面も安心です。

